

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年6月9日時点)

➤ **ウクライナ軍**が南部及び東部の露軍に対する攻撃を強化する一方、**露軍**は、各正面において**防御戦闘を実施**するとともに、各地の**軍事・非軍事施設**に対する攻撃を継続している模様。

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約6万~7万人 (CSIS2月27日)

死者約20万8,000人 (「ウ」軍東部作戦管区報道官6月3日)

死傷者約18万人 (クリストファーセン・ノルウェー軍参謀総長1月22日)

「ウ」軍: 死者最大約1万3千人 (ポドリャク「ウ」大統領府長官顧問22年12月1日)

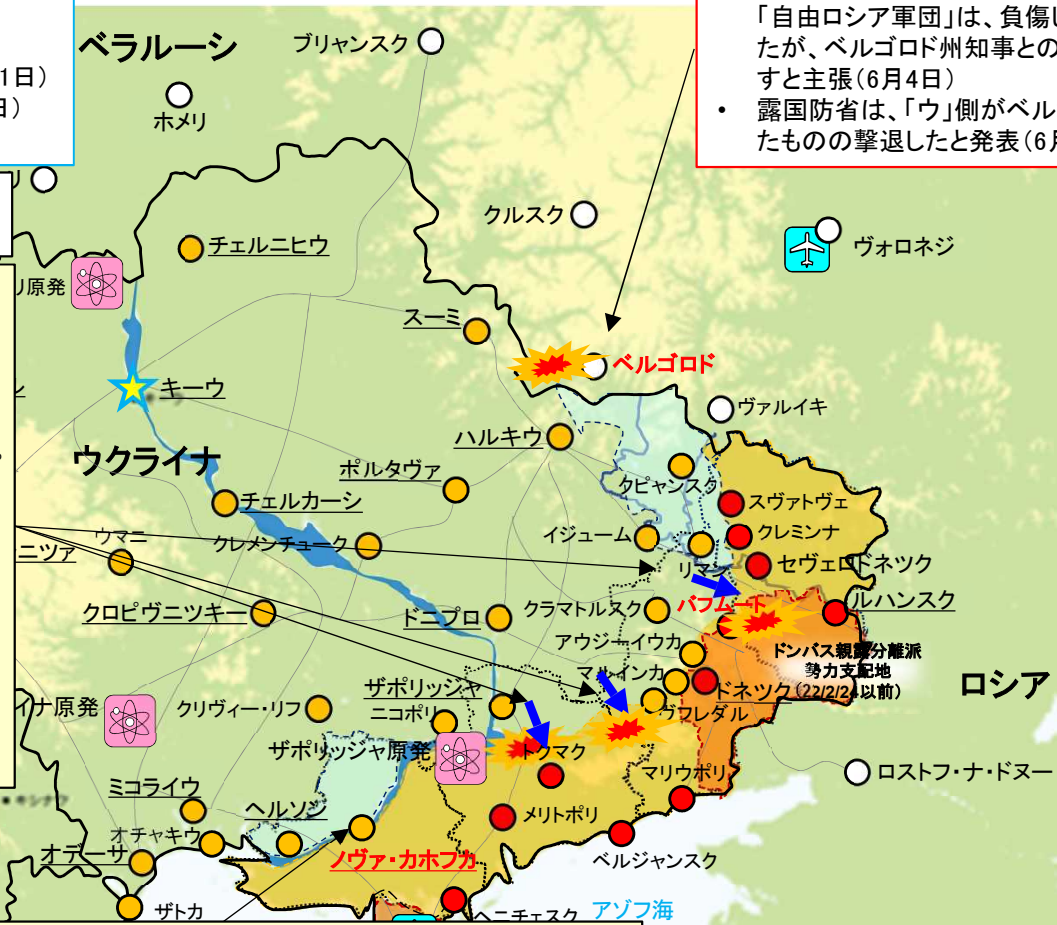
死傷者推定10万人以上 (クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者8490人以上、負傷者1万4,244人以上 (OHCHR4月10日)

- 「ウ」側で戦う「自由ロシア軍団」及び「ロシア義勇軍団」は、ロシア領内へ侵入し越境作戦を行った旨発表。「自由ロシア軍団」は、負傷したロシア兵2名を拘束したが、ベルゴロド州知事との面会の上で2名を引き渡すと主張(6月4日)
- 露国防省は、「ウ」側がベルゴロド州に侵入しようとしたものの撃退したと発表(6月4日)

- 6月6日、豪紙は、米国、豪州、「ウ」は、退役予定の豪州空軍のF/A-18ホーネット×41機を「ウ」に送ることについて議論している旨報道

- ロシア国防省は、ウクライナ軍が**ドネツク州南部で大規模攻勢を開始したもの、撃退したと発表**(6月4日)
- マリヤル「ウ」国防省次官は、「我々は**複数方面で攻撃的行動**を取っている旨発言(6月5日)
- ショイグ国防相は、**4日に「ウ」2個旅団が5方向への攻撃を試み、成功せず、5日には「ウ」5個旅団が7方向への攻撃を試み、成功せずと発表。3日間で「ウ」軍は人員3,715人、戦車52両を損耗、露軍は71名が死亡し、210名が負傷したと発表**(6月6日)
- ゼレンスキー大統領は、「**バフムト正面の我々の英雄たちを祝福したい**」、「**前進してくれてありがとう**」と演説で発言(6月6日)
- ショイグ国防相は、8日、ザポリジヤ正面で**「ウ」軍第47機械化旅団がロシア軍防衛線の突破を試みたものの阻止したと発言**(6月8日)
- 米紙ワシントン・ポストは、「ウ」軍関係者4人からの話として、「ウ」軍がロシア軍に対する大規模な反転攻勢に着手したと報道(6月8日)
- 米戦争研究所は、7日から8日にかけて、「ウ」軍が**ザポリジヤ州西部で限定的だが重大な攻撃を行ったと指摘**(6月8日)



- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

- ゼレンスキー大統領は、6日未明にノヴァ・カホフカにあるカホフカ・ダムが決壊したことについて、**ロシアがダムを決壊させたと主張**。また、80の町や村が浸水する可能性があるとして指摘(6月6日)
- ショイグ国防相は、「**「ウ」が水力発電所を爆破した**。これは「ウ」側が攻勢作戦で成功せず、人員及び装備品をヘルソン正面から攻勢作戦地域に移動させることを企図したもの」と指摘(6月6日)
- カービー米NSC戦略広報調整官は、ダム決壊に関し、「**現時点で何が起きたのか結論づけることはできない**」と発言(6月6日)

